

図書館事業計画にかかる評価について

1. 目的

図書館の基本的運営方針の実現のため、活動目標ごとの評価について、自己評価と図書館協議会による外部評価を実施し、事業計画の推進を図ります。

2. 評価にかかる法的根拠

(1) 図書館法

第七条の三（運営の状況に関する評価等）

図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(2) 図書館の設置及び運営上の望ましい基準

第2 公立図書館 一 市町村立図書館 1 管理運営

(2) 運営の状況に関する点検及び評価等

- ① 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(1)の②の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。
- ② 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第14条第1項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、当該図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。
- ③ 市町村立図書館は、前2項の点検及び評価の結果に基づき、当該図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。
- ④ 市町村立図書館は、第1項及び第2項の点検及び評価の結果並びに前項の措置の内容について、インターネットその他の高度情報通信ネットワーク（以下「インターネット等」という。）をはじめとした多様な媒体を活用すること等により、積極的に公表するよう努めなければならない。

3. 評価の実施

評価の実施にあたっては、計画（Plan）→実施（Do）→評価（Check）→改善（Action）を実行することで、図書館運営全般の評価とその結果に基づく運営の改善及び図書館サービスの向上を図っていきます。

(1) 活動指標の設定

「大津市図書館の基本的運営方針」の実現に向けて掲げた5つの活動目標に基づき指標を設定し、事業の達成度を測ります。

(2) 評価基準

設定した指標の達成状況等により、4段階で評価します。

- A 目標が達成され、十分な成果をあげた。
- B 目標がほぼ達成され、一定の成果をあげた。
- C 目標は達成されなかったが、一定の成果をあげた。
- D 目標が達成されず、十分な成果をあげることができなかった。

(3) 評価方法

設定した指標等をもとに、5つの活動目標についての達成状況を図書館内で自己評価をします。その内容を大津市図書館協議会で報告します。また、図書館協議会による外部評価を実施し、事業計画の推進を図ります。

(4) 令和3年度事業評価の結果について

【評価結果一覧】

評価項目	自己評価			外部評価
	本館	北館	和邇館	
活動目標 1 市民の学びに応える図書館	A	B	A	A
活動目標 2 だれもが利用できる図書館	A	A	A	A
活動目標 3 魅力あふれるまちづくりを支える 図書館	A	A	B	A
活動目標 4 子どもの育ちを支援する図書館	A	A	A	A
活動目標 5 市民とともにつくる図書館	B	A	B	B

【活動目標ごとの評価シート】

別紙のとおり

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和3年度評価シート

活動目標 1	市民の学びに応える図書館
主な取組み	①幅広い資料の収集と保存 ②資料・情報提供の充実 ③レファレンスの充実 ④図書館職員の資質向上

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和3年度 of 取組状況				
① ・幅広い資料の収集と保存に積極的に努めた。 ・利用者ニーズの適正な把握と要望に的確に応えるための蔵書構成と資料費の確保に努めた。 ・電子図書コンテンツについては、今年度は特に児童書のコンテンツの充実に努め、朝読書や調べ学習に活用できるようにコンテンツの選書を行った。 ・新鮮な図書の蔵書構成に努めるため、引き続き丁寧に除籍作業を実施し、除籍資料は、利用者へリサイクル本及びリサイクル雑誌の提供事業を開催した。				
② ・バリアフリー図書の収集 ・引き続き、大活字本(135冊)、朗読CD(29点)、点字図書(6冊)、LLブック(7冊)の購入を積極的に行うとともに、今年度は新たに洋書(111点)(主に洋書絵本)の充実を図った。また、バリアフリー図書のうち、今年度は朗読CDをピックアップして「あなたの本棚」に掲載し、POPを作成し館内周知を図った。				
③ ・参考資料室を中心とした郷土資料の充実に努めた。 比叡山延暦寺伝教大師最澄1200年大遠忌記念講演を実施したことを機会に、比叡山延暦寺関連の図書の収集を積極的に行った。 ・レファレンスツールの整備 法令の改正や参考資料の改訂に併せて購入を積極的に行った。				
④ ・外部研修への積極的な参加 (県立図書館、日本図書館協会図書館地区別研修(近畿地区)(リモート参加)、日本図書館協会滋賀支部研修会等参加) ・館内整理日を活用した職員全体研修の実施 (「心肺蘇生法とAED操作研修」、「レファレンス研修」、「大津市歴史文化構想に係る研修」、「安全運転講習」4回実施)				
(2) 課題と今後の展開				
① ・図書、雑誌、郷土・行政資料、視聴覚資料、バリアフリー資料、外国資料など豊富で幅広い資料収集を利用者のニーズを的確にとらえ、積極的に収集を行い、資料の紹介や資料の活用についても工夫する必要がある。 ・図書館資料の収蔵力には限界があることから、除籍作業についても、引き続き慎重に作業を継続してゆく必要がある。				
② ・資料・情報提供の充実については、利用者の読書要求に応えるため、引き続き、カウンターでの貸出・返却業務や読書相談やレファレンス等業務について、適正かつ丁寧に対応していく。				
③ ・日常の疑問の解決や調査研究活動に対応できるよう、参考資料室を中心として、レファレンスツールの整備や郷土資料の充実に引き続き努める。				
④ ・多様化する利用者のニーズの把握に的確に把握し、職員の資質向上を目指すために研修会等へ積極的に参加し職場内で共有するとともに、職場内の課題解決に向け職場内研修の実施を行う必要がある。				
2 指標				
指標名	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和4年度目標
貸出冊数	742,000	840,792	113.3%	835,000
蔵書冊数	515,000	517,840	100.6%	522,000

3 自己評価	達成状況	A
<p>幅広い資料の収集においては、様々な選書ツールを用いながら、図書をはじめ、幅広い資料の収集に努めた。また、利用者からのリクエストについては、購入及び相互貸借にて、出来るだけ利用者のリクエストに応えるように努めた。資料の充実と新鮮な蔵書構成を保つため、閉架書庫の安全で、迅速に資料を探せる環境の維持するため、今年度も引き続き積極的に除籍作業を実施した。引き続き閉架書庫等の除籍作業を実施する。除籍資料の提供については、来館者の増加につながる事業へ展開できた。</p> <p>資料費の予算確保については、コロナ感染症地方創生臨時交付金を活用し、紙の資料費及び電子図書関連費の積極的な予算執行に努めた。</p> <p>電子図書の利用拡大のために、月々の特集については図書館の展示本とリンクするよう工夫した。</p> <p>バリアフリー関連図書や電子図書についても、引き続き予算確保に努め蔵書の充実や積極的な利用を図る。</p> <p>市民の読書要求に応えるべく、レファレンス資料等を活用しながら、適切に対応するために、研修への積極的な参加を行っていく。</p>		

II. 北図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開																				
(1) 令和3年度の取組状況																				
<p>1. 資料・情報提供の充実 図書館の利用者に、新たに入手した資料や情報を分かりやすく揭示し、提供の充実に努めた。また、「本のミニリサイクルコーナー」を一年を通して行い、除籍後の資料を市民に譲渡した。(新規)</p> <p>2. レファレンス環境の充実 図書館の利用者にわかりやすい位置にレファレンス用カウンターを設けて、市民の様々な活動を支援するための情報サービスの充実に取り組んだ。</p> <p>3. 図書館職員の資質向上 情報セキュリティ研修や会計年度任用職員研修Ⅱ等を積極的に受講するとともに、自主事業の「季節のおはなし会」で多くの職員が積極的に発表を行い、図書館職員の資質向上に努めた。</p>																				
(2) 課題と今後の展開																				
<p>【課題】</p> <p>1. 職員のレファレンスに関するさらなる知識の習得。</p> <p>2. 土・日勤務の偏重の勤務ローテーションのため、平日開催の研修会に参加が難しい。</p> <p>【今後の展開】</p> <p>1. 館内会議の中で研修時間を設け、職員の資質向上に努める。</p> <p>2. 県立図書館等で開催する研修会には、ローテーションを調整し、参加できるよう努める。</p> <p>3. 今後も引き続き、利用者のニーズに応じた図書館資料・情報の提供に努める。</p>																				
2. 指標																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>令和3年度目標</th> <th>令和3年度実績</th> <th>達成率</th> <th>令和4年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>372,000</td> <td>358,430</td> <td>96.4%</td> <td>372,000</td> </tr> <tr> <td>蔵書冊数</td> <td>170,000</td> <td>175,615</td> <td>103.3%</td> <td>177,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標名	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和4年度目標	貸出冊数	372,000	358,430	96.4%	372,000	蔵書冊数	170,000	175,615	103.3%	177,000					
指標名	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和4年度目標																
貸出冊数	372,000	358,430	96.4%	372,000																
蔵書冊数	170,000	175,615	103.3%	177,000																
3. 自己評価	達成状況	B																		
<p>ミニリサイクルコーナーを常設できたことで、年に一度のリサイクル期間までの、除籍本保管場所不足が解消でき、除籍後の資料活用の割合も高まった。</p> <p>また、令和3年度は児童サービスに参加する職員数も増え、意見交換を行いながら、活発な運営ができた。</p>																				

Ⅲ. 和邇図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開					
(1) 令和3年度の取組状況					
① ・蔵書の見直し(今年度は3類・6類の法律・ビジネス経済、商業関係) ・文芸以外の大活字本の購入(62冊のうち18冊) ・「英文多読コーナー」の設置(413冊受入) ・館内展示(成人・児童)や「図書館だより」「くらぼ」「夏休み読書案内」の発行の他、夏休みスタンプラリー用におすすめ本のリスト(「夏休み☆ワールドスタンプラリーガイドブック」)、英文多読推進用に多読資料リスト(シリーズごと、4シリーズ作成)の作成					
② ・「今日のおすすめ本」コーナーの設置					
③ ・「図書館だより」への「レファレンスブック紹介コーナー」の記載(22年1月号～)					
④ ・図書館や読書に関する記事や資料の回覧					
(2) 課題と今後の展開					
① ・日々の業務の中で全員が資料の状態や利用者のニーズについて把握できるように心がけ、共有するほか、分類ごとに計画的に見直し、新鮮な本の提供を行う。 ・来年度も引き続き、英文多読についての外国語資料の受入を行う。またその活用についての講座を行う。					
② ・電子図書やオーディオブックを紹介する講座を行い、図書館をより便利に活用してもらう。 ・利用者から「おすすめの1冊」を募集し、展示コーナーで展示を行う。					
③ ・レファレンスブックの見直しを行う中で、あたらしい図書やレファレンスツールを紹介する。					
④ ・毎月の館内会議の中で、それぞれの課題について発表する場をつくり、課題を共有することで解決に導く。 ・各種図書館サービスやテーマに応じた研修の受講による職員の資質向上を図り業務に活かす。					
2. 指標					
	指標名	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和4年度目標
	貸出冊数	280,000	305,879	109.2%	311,000
	蔵書冊数	196,000	197,988	101.0%	200,000
3 自己評価		達成状況		A	
<p>蔵書の見直しや様々なジャンルの本の受入、展示やリストの作成などによって、貸出増加につなげることができた。</p> <p>利用者の要望やリクエストなどのデータを集約し、蔵書のバランスを取りながらも利用者のニーズをとらえた選書、時代に合った資料や新たな発見ができるような資料を収集していきたい。また、本を通して利用者同士の交流ができるような取り組みや、展示やリストの作成を通じて、既存の資料の利用・活用を促進していく。</p> <p>展示コーナーについても、月ごとのテーマ展示のほか、「今日は何の日」などその日ごとに関連した本の展示やウクライナ情勢など社会情勢に応じた展示なども臨機応変に行った。レファレンスブックについては古いものは書庫に入れ、新しい版のものや新しい分野のものをそろえた。利用が多いものではないが、多くの人に知ってもらえるようにPRしていきたい。</p> <p>職員研修については、今年度はほぼ館内での配布物による自己研修のみとなった。最近ではライブ配信などWEB上で行われるものも多く、参加が難しい多いが、担当業務の研修への参加や日々の中でそれぞれが感じる課題を共有し、解決策を話し合いながら業務に生かしていきたい。</p>					

図書館協議会の意見(総評)	達成状況	A
<ul style="list-style-type: none"> ・資料の収集については、利用者のリクエストに応えるとともに、各図書館において蔵書構成の見直しや適切な選書等を努めることで、令和3年度の貸出冊数及び蔵書冊数の実績が目標値を達成していることは、一定の成果が見られたと評価するものである。 ・資料・本の展示やおすすめ本リスト作成、また、開架書架の新鮮な状況を保つための除籍作業を実施するなど、利用者へ読書推進にかかる情報提供や環境整備に努めている。 ・職員研修については、コロナ禍で参加が難しい状況ではあるが、オンラインやZOOMを活用して、積極的に参加し、職員の資質向上に努めている。 ・レファレンスについては、今後、記録の蓄積化とデータベース化を目指し、ホームページなどによりオープンにすることで、新たなレファレンススタイルを構築していくことを検討していただきたい。 ・今後も市民ニーズに沿う取組を行うことで、更なる『市民の学びに応える図書館』を目指してほしい。 		

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和3年度評価シート

活動目標 2	だれもが利用できる図書館
主な取組み	①図書館への来館が困難な人へのサービスの展開 ②障害者サービスへの展開 ③高齢者へのサービスの展開

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和3年度の取組状況				
①・移動図書館の定期巡回 ・移動図書館車の更新				
②・電子図書及びオーディオブックの普及啓発 ・電子図書コンテンツの追加(令和3年度新規購入1,746コンテンツ) ・マルチメディアデジターの運用(3館1分館への整備) ・利用者登録の電子申請サービス開始(公的個人認証を活用)				
③・高齢者事業(連続講座の実施 年間8回計画 延べ75人参加) ・バリアフリー図書(大活字本と朗読CD)の収集を行った。 大活字本 135冊 朗読CD29点				
(2) 課題と今後の展開				
①・移動図書館の利用促進 ・車両の更新に伴う一層のPR ・出前講座を活用したスポット巡回				
②・電子図書及びオーディオブックの普及啓発 ・電子図書等の利用を契機とした図書館利用の流れ ・利用者登録の利便性向上の検討				
③・図書館での高齢者向け行事については好評であったため、次年度以降も事業を継続する。新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、図書館職員以外の外部講師やボランティア等による多彩なメニューを展開することで、図書館への来館契機を作りさらなる利用につなげていく。 ・様々な図書館資料に触れることで、読書の楽しみにつながる事業の展開を行う。				
2 指標				
指標名	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和4年度目標
来館者数	210,000	234,691	111.8%	230,000
図書館利用促進につながる事業回数	220	334	151.8%	270
3 自己評価				
達成状況		A		
①移動図書館サービスについては、図書館から離れた地域に暮らす高齢者や子ども連れの方などを中心に幅広く利用されており、車内の資料についても、巡回場所における利用状況を見ながら選定し新鮮な状態を保つよう努めている。				
②電子図書の運用については、令和3年2月1日より開始し、非来館型図書館サービスとして、いつでもどこでも読書ができる環境を整備できた。(開館時間外での利用が全体の約55%) 今年度は、特に小中学生向けコンテンツの充実を行い、朝読書や調べ学習に活用できる環境整備に努めた。				
③高齢者事業については、アンケートを実施した結果、連続的な事業の展開を希望されていることから、拡充すべく、図書館へ来ることが楽しくなるような事業展開を引き続き実施していく。 また、活字の読書が困難になってきたことにより、図書館への来館が途絶えることのないよう、引き続きバリアフリー図書や電子図書の利用促進を図っていくための広報活動を引き続き行う。				

II. 北図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和3年度 of 取組状況				
1. 高齢者向けのお話会の定期開催。 今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、高齢者向けのお話会の開催が困難となり、来年度に向けて開催ができるよう検討している。				
2. 文化ホールを活用したボランティア団体との共催事業開催。 ボランティア団体「友の会」との共催事業として、前年度に引き続き僧侶による講演「すべてはご縁のおかげさま」を開催した。				
3. 大活字本や、関連資料の定期的な購入。 大活字本の定期的な購入(年2回/計39冊)及び介護や高齢者向け施設で需要の高い分野の資料を積極的に購入(紙芝居、介助・食事関連、レクリエーション・運動等)した。				
(2) 課題と今後の展開				
【課題】				
1. 高齢者向けサービスの充実。				
2. 高齢者向けサービス資料の収納スペース不足。				
3. 高齢者向け講座会場の設定。				
【今後の展開】				
1. 今まで乳幼児を対象として開催していたおはなし会だけでなく、今後も高齢者向けのお話会を開催していく。				
2. 高齢者向け資料の開架・閉架の書架共に収納場所の確保に努める。				
2 指標				
指標名	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和4年度目標額
来館者数	150,000	177,440	118.3%	180,000
図書館利用促進につながる事業回数	90	108	120.0%	100
3 自己評価	達成状況		A	
要望のあった高齢者向け資料(レクリエーション関係や、大活字本、CD、紙芝居 等)の積極的な購入に努めることが出来た。また、限られたスペースの中に、高齢者専用の紙芝居コーナーを設けたことで、必要とされている高齢者施設関係者等の利用が増えた。				

III. 和邇図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和3年度 of 取組状況				
① ・移動図書館の運行 ・真野支所・真野北支所・小野支所に移動図書館の次回運行日を掲示。 ・学校・園への団体貸出(再掲)				
② ・大活字本 62冊、朗読CD 14点、点字図書 2冊、LLブック 4冊などバリアフリー資料の収集 ・「テープ版図書館だより」の作成(12回)				
③ ・高齢者サービス案内のしおりを作成(「いつまでも読書の楽しみを」) ・映画会「名画の窓」の開催(1月～)				
(2) 課題と今後の展開				
① ・次回運行日の掲示の拡大。 ・団体貸出のPR。 ・電子図書・オーディオブックのPR				
② ・さまざまな分野の大活字本など、バリアフリー資料をさらに収集していく。 ・マルチメディアデイジーの活用を検討する。 ・「バリアフリーDVD」の購入・上映会の開催				
③ ・「図書館だより」のサイズをA3で作成し、フォントを大きくして発行する。 ・高齢者サービス案内のしおりをもとに、不定期で本を紹介する冊子を作成する。				

2 指標				
指標名	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和4年度目標
来館者数	80,000	89,113	111.4%	90,000
図書館利用促進につながる事業回数	100	127	127.0%	130
3 自己評価		達成状況	A	
<p>移動図書館の運行や移動図書館を通じての学校・園・児童クラブ・社会福祉施設への貸出で、図書館への来館が困難な人へのサービスを進めることがで、来館者数も目標数値を達成した。</p> <p>今年は移動図書館「ミツケル号」の車両更新も行うことから、今一度移動図書館のサービスについてPRできるような事業を展開し、利用を促進したい。また、バリアフリー資料についてもそれを必要としている方へ情報が届くように、館外でのPRを考えていきたい。</p> <p>高齢者サービスについては、しおりは作成したものの、館内での配布にとどまっている。具体的なサービス内容については検討中であるため、高齢者へのアンケートなどの実施も視野に入れながら先進図書館の事例などを研修し進めていきたい。</p>				

図書館協議会の意見(総評)	達成状況	A
<ul style="list-style-type: none"> ・指標の来館者数については、令和3年度実績が目標値に対し113.9%と上昇している。この背景には、コロナ禍ではあるが様々なサービスを工夫されている成果の現れであると評価するものである。 ・本館の移動図書館車が更新されたことに伴い、更に充実したサービスを期待するところである。また、市内の中学生からのデザインを採用したことで、車両の注目度も高く、これを契機としたPRにも努められた。 ・高齢者講座の取組については、利用者アンケートからも好評であり、本館のみの展開ではなく、他の図書館でも同様の実施を望むものである。 ・電子図書の推進については、引き続き実施していくとともに、さらなる周知を図りたい。特に、学校向け、大人向けの電子図書の使い方講座など、身近に利用いただける環境整備に努められたい。 ・電子図書の活用については、10～12歳の利用が多く、GIGAスクールによるタブレット活用の連携がうまく図られていることが数値からも読み取れる。 ・新型コロナウイルス感染症の感染状況がなかなか落ち着かない中ではあるが、短時間でも工夫を凝らし、楽しく利用できる企画を実施している。 ・今後も、市民の生涯学習施設の中核施設として、すべての市民が身近に気軽に利用できる図書館サービスに努めていただきたい。 		

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和3年度評価シート

活動目標 3	魅力あふれるまちづくりを支える図書館
主な取組み	①郷土資料及び行政資料の収集・整備 ②行政・公共機関等との連携 ③地域資料を活用した運営

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和3年度の取組状況				
① 郷土資料及び行政資料の収集及び利用者への提供を行った。 ・収集した郷土及び行政資料の積極的な活用や資料展示を行った。				
② 市関係所管課及び公共機関との連携事業として、施策推進にかかる資料とともに関連図書の展示等を積極的に実施した。				
③ 学びの継続や発展につなげるために、市関連事業(比叡山延暦寺伝教大師最澄1200年大遠忌記念事業)に関連した図書等の資料収集及び展示業務を積極的に行った。				
(2) 課題と今後の展開				
① 郷土資料及び行政資料の積極的な収集・整備・保存				
② 社会的課題の解決支援のため、庁内所管課と連携して市民に情報提供していくことが必要である。 ・庁内各所管課との連携により、施策の推進を側面的に支援する役割を発揮していく。				
③ 貴重な郷土資料の作成が、図書館への資料収集に結びつくように、地域に向けても広報する必要がある。				
2 指標				
指標名	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和4年度目標
市関係所管課及び公共機関との連携 展示回数	7	8	114.3%	7
3 自己評価		達成状況	A	
市関係所管課及び公共機関との連携によりテーマ展示を積極的に行った。テーマ設定に基づき、積極的に資料収集を実施し、既存の図書館資料の展示だけでなく、ワークショップを開催したり、パンフレットの配布を行った。より利用者にとって考えていただくきっかけとなり、関連図書資料の貸し出しの増加につながった。 郷土資料や行政資料、美術館・博物館の展示会の図録等についても積極的に収集し、学びの継続や発展につなげていくような蔵書の充実を図った。				

II. 北図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和3年度の取組状況				
1. 大津市障害福祉課及び堅田すこやか相談所との連携事業の充実。 今年度も引き続き、障害福祉課と連携し、発達障害の関連本を展示し、また、堅田すこやか相談所と連携を図り、健康づくり啓発の関連本を展示した。				
2. 地域資料の受入れ。 地域の市民から地域資料の寄贈の申し出があれば受入れしている。 対中いずみ氏より「冬董(ふゆすみれ)」(句集)の寄贈を受入れた。				
3. ほくぶん子どもまつりの開催。 北部地域とのつながりを意識しながら企画運営を図り、北部地域文化センター内の全4所属で共催した。				

(2) 課題と今後の展開				
【課題】				
1. 地域資料を発掘する必要がある。				
【今後の展開】				
2. 地域での活動者の支援を通じて、必要な資料の収集に努める。				
2 指標				
指標名	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和4年度目標額
市関係所管課及び公共機関との連携 展示回数	3	3	100.0%	3
3 自己評価		達成状況	A	
<p>地元で、活躍されている俳人の資料展示を行ったところ、入手困難な未所蔵本をご本人より寄贈いただき、北部地域の方々への情報発信ができた。また、文化ホールで写真展を開催している写真家のエッセイ等も記事と共に紹介するなど、所属している北部地域文化センター内での連携も積極的に取り組んだ。</p>				

Ⅲ. 和邇図書館

1 主な取り組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和3年度の取組状況				
① 郷土及び行政資料について、寄贈・購入をあわせて113冊受入した。適切な蔵書管理のため、利用の少ないものは閉架書庫に入れるなどして整理を行った。				
② ・健康推進課との連携展示 健康づくり啓発事業(9月)・大津市がんについて考える日(2月4日) ・危機・防災対策課より「防災マップ」の寄贈を受け、行政資料として受入。				
③ ・地域行事である「妹子まつり」の写真を借り受け、写真展を実施(11月3日)				
(2) 課題と今後の展開				
① 郷土・行政資料については本館が中心となって収集しているが、各館で情報共有しながら収集していく。 ・郷土資料の知識について、職員に偏りがあるのでレファレンス内容の共有やパスファインダーの作成等でさらなる充実を図る。				
② ・庁内各課と連携展示を実施することで、作成しているパンフレットや冊子などを積極的に収集し、利用者により多くの情報を提供できるよう整備する。また、庁内各課との連携展示に向けた積極的なPRを図る。				
③ ・地域の行事、文化については本になっているものも少なく、収集が難しいが、市民からの需要は多い。成文化されているものをまとめたり、歴史講座の実施など地域振興につながる運営に努めていく。				
2 指標				
指標名	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和4年度目標
市関係所管課及び公共機関との連携 展示回数	5	4	80.0%	5
3 自己評価		達成状況	B	
<p>郷土行政資料について、これまでは書籍や雑誌などの収集に努めてきたが、最近ではインターネットやSNSを通して得られる情報も多く、今後は様々なメディアにアンテナを張りながら地域の良さを伝える資料を収集していきたい。また、地域の様々な活動をされている方とも交流を深め、図書館を通して活動の場を広げていってもらえるようなPRをしていきたい。市の施策推進については、毎年同じ課との連携になっているので、各課から申出を待って展示するのではなく、こちらから働きかけができるようにしたい。</p>				

図書館協議会の意見(総評)	達成状況	A
<p>・令和3年度の連携展示の回数は、総計で目標値を達成しており、利用者に向けて多くの市政情報等を発信できたと評価するものである。</p> <p>・市関係所管課及び公共機関との連携展示については、福祉、防災、男女共同参画など施策や社会的課題を踏まえ、所管課と連携を図りながら推進されている。特に、関連本の展示は、貸出につながるものであり、各館とも利用者の目に留まるよう工夫し企画されている。</p> <p>・郷土資料の収集に関しては、積極的な収集に努められてはいるものの、資料の数、特に子ども向けの資料が少ない状況である。学校でも、地域学習のために資料の収集に苦慮しており、将来的には歴史博物館とも連携した中で、図書館が教材づくりのつなぎ手になると、図書館利用にもつながり、また、図書館のレファレンスの幅も広がるのではと期待するものである。</p>		

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和3年度評価シート

活動目標 4	子どもの育ちを支援する図書館
主な取組み	①成長段階に応じた読書環境の整備・充実 ②学校・園や地域との連携 ③子ども読書活動の推進と普及・啓発

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和3年度 of 取組状況				
①【成長段階に応じた読書環境の整備・充実】				
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児向け・幼児～向けにおはなし会などを実施 ・小学校低学年向けブックリスト作成配布 ・児童書新刊案内発行・HP掲載 ・夏休み読書案内(幼児～小学校高学年)作成配布 				
②【学校・園や地域との連携】				
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育園への絵本セット貸出・配本実施 ・小学校への定期配本・調べ学習用図書貸出配本 ・小学校1年生対象図書館利用説明出前 ・小学3年生対象図書館案内出前 ・学校・園・学校図書館部会・教員初任者研修などのおはなし会や出前講座実施 ・小学校3年生対象図書館見学代替資料作成・配布 ・中学校1年生ブックリスト配布 ・中学生対象図書館利用案内配布 ・中学校へのセット貸出・配本 2校 ・学校図書館リニューアル支援 2校7回 ・学校図書館司書サポート 1回 				
③【子ども読書活動の推進と普及・啓発】				
<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座(園・学校関係者、児童館での絵本講座実施) ・季節に合わせた催しの実施、季節ごとのテーマ展示 				
(2) 課題と今後の展開				
① ・子どもの読書環境の整備				
<ul style="list-style-type: none"> ・本と親しむ契機となるおはなし会の充実 				
② ・子ども読書活動推進のため、学校・園と連携した読書環境整備の支援が必要				
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが地域で気軽に本に触れることができるよう子育て関連施設等への支援が必要 ・中学生の読書離れや図書館利用の減少への施策が必要 				
③ ・児童サービス関連講座の継続的な実施				
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを取り巻く大人に向けた読書活動の推進と普及・啓発 				
2 指標				
指標名	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和4年度目標
児童図書貸出冊数	237,000	251,398	106.1%	290,000
学校・園への団体貸出冊数	15,000	19,529	130.2%	20,000
児童サービス事業(おはなし会等)の回数	200	273	136.5%	270
3 自己評価		達成状況	A	
<p>年齢に応じたお話会の開催やブックリストの作成・配布を行い、読書のきっかけとすることができた。令和3年度より図書館に来館する機会が減る中学生に本に親しんでもらうため、中学校へのセット貸出をスタートさせた。また、小中学校の図書室のリニューアル支援を行い、子どもの読書環境の整備を進めることができた。</p> <p>季節にちなんだ催しを定期的実施することで、親子で気軽に図書館を利用してもらい、新たな利用者の拡大に努めた。</p>				

II. 北図書館

1 主な取り組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和3年度の取組状況				
<p>1. 堅田児童館の主催事業「赤ちゃん広場」で絵本についてはおはなしや読み聞かせの実演を3回実施した。</p> <p>2. (新規)</p> <p>3. 図書館職員が仰木の里東小学校へ出向き、2年生に「出前図書館案内」を実施した。(新規) 各おはなし会の開催。 たーたかのおはなし会(月2回)、コロボックルのおはなし会(年6回)、季節のおはなし会(年4回)、夏と春に大きなおはなし会を開催。</p> <p>4. 一日図書館員(小学3年生)事業。→ 8月の2日間で午前午後各1人【中止】</p> <p>5. 図書館見学(小学3年生)の受入れ。→ 近隣校5校程度【中止】</p> <p>6. 職場体験学習(中学2年生)の受入れ。→ 近隣校5校程度【中止】</p> <p>7. 夏休みブックリストの作成。 児童向けの夏休みおすすめ本を作成し、図書館利用者に配布</p> <p>8. 夏休みスタンプラリー。 和邇館と共催し、世界の国のスタンプラリーを実施。</p> <p>9. 小学校などと連携した定期配本や学習支援用の依頼圖書の貸出。 堅田・真野・雄琴・仰木(継続)・伊香立(再開)・葛川(新規)と連携をし、定期配本や学習支援用の依頼圖書の貸出を行い、子どもの読書活動を推進。</p> <p>10. 児童書の買換・複本購入。 長く読みつがれてきた本を中心に、積極的な買替・複本購入を実施。</p>				
(2) 課題と今後の展開				
【課題】				
1. 図書館見学や職場体験学習等の受入れ人数に限りがある。				
【今後の展開】				
<p>1. 一日図書館員事業を今後も行う。</p> <p>2. 近隣校から図書館見学の要望があれば、日程調整を図り、積極的に受入れを行う。</p> <p>3. 近隣校から職場体験学習の要望があれば、日程調整を図り、積極的に受入れを行う。</p> <p>4. 本に興味をもってもらうため、夏休みブックリストを作成していく。</p> <p>5. 夏休みスタンプラリーを開催することで、図書館への来館者数を増やしていく。</p> <p>6. 配本人員を確保し、定期配本や図書貸出を行う。</p>				
2 指標				
指標名	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和4年度目標額
児童図書貸出冊数	110,000	146,468	133.2%	150,000
学校・園への団体貸出冊数	7,000	8,260	118.0%	8,000
児童サービス事業(おはなし会等)の回数	35	47	134.3%	40
3 自己評価	達成状況		A	
令和3年度は、図書館への来館者だけでなく、他機関(近隣小学校や、同施設内の児童館)へ出向くことで、普段図書館へは来館されていない方へ、図書館や本の紹介を行えた。また、同じ複合施設にある堅田児童館と連携して、子ども読書推進に向けた取組を積極的に進めることができた。				

Ⅲ. 和邇図書館

1 主な取り組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和3年度の取組状況				
<p>① ・児童向け定例おはなし会の開催(25回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診でのおはなし会のチラシ配布 ・長く読み継がれた本の買いなおし <p>② ・学校・園への団体貸出(4校3園・6児童クラブなどに配本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校への出前講座(ブックトーク・学校図書館リニューアル・図書館使い方講座) ・調べ学習支援図書・並行読書用の図書の購入 <p>③ ・夏休みワールドスタンプラリーの開催(46人達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お正月「本のふくぶくろ」(子ども向け)の開催(22袋44冊配布) ・子ども読書週間事業「『ぼうしのいろをあてよう』ぬりえクイズ」(7人達成) ・読書週間事業「読書ノート」(子ども用)配布 				
(2) 課題と今後の展開				
<p>① ・新型コロナウイルス感染症対策のため開催できない事業もあったが、換気などの対策を講じた上で今後もおはなし会・展示など読書環境の整備に努めたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生以上の子どもたちが参加しやすいおはなし会や行事を検討する。 ・子育て支援の場へ本の提供をするなど、未利用者へもPRしていく。 <p>② ・中高生へのサービスについて、志賀中学校と連携し、読書推進に向けたサービスの拡充を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けの行事について、学校・園にもチラシを配布し情報を提供する。 ・移動図書館の活用により、より多くの学校や園へ利用を広げる。 <p>③ ・子どもと子どもにかかわる大人へ、読書の楽しみが伝わるような事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども読書週間事業、読書週間事業のほか、和邇図書館開館30周年記念事業を行い、未利用者へも子ども読書のPRをする。 				
2 指標				
指標名	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和4年度目標
児童図書貸出冊数	81,000	99,580	122.9%	95,000
学校・園への団体貸出冊数	13,000	14,253	109.6%	14,000
児童サービス事業(おはなし会等)の回数	35	39	111.4%	40
3 自己評価	達成状況	A		
<p>新型コロナウイルス感染症対策を行いながら少しずつ行事を元に戻していくことができた。その中で、「本のふくぶくろ」など貸出につながるような事業や人形劇も開催した。</p> <p>乳幼児健診など未利用者へのPRができるような事業はまだ再開はできないが、地域の子育て支援の事業に積極的に参加するなどして、読書の楽しみや大切さを伝えていきたい。</p> <p>学校や園への団体貸出については、現在移動図書館で巡回している学校・園のほかにも、地域の子育て団体等にも絵本セットの貸出などを通じてサービスを広げていきたい。</p>				

4 図書館協議会の意見	達成状況	A
<p>・指標となる児童図書貸出冊数、学校園への団体貸出冊数、児童サービス事業の回数については、それぞれ令和3年度目標を上回っており、積極的な事業を展開し、成果があったものと評価するものである。</p> <p>・コロナ禍の状況の中、各館とも子どもや親子連れが本に親しむ環境整備に努められた結果が、児童図書の貸出冊数に現れている。</p> <p>・おはなし会については、感染症対策を講じながら、成長段階に応じた読み聞かせ事業を工夫をした中で継続して実施するなど、図書館の努力が伺える。</p> <p>・学校との連携については、団体貸出をはじめ、学校図書館への支援事業も実施されており、図書館内外において子どもを取り巻く読書環境の整備に努めている。</p> <p>・子どもの読書活動の推進においては、図書館の更なる活躍を期待する。</p>		

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和3年度評価シート

活動目標 5	市民とともにつくる図書館
主な取組み	①課題発見と解決への支援 ②ボランティア活動の推進 ③市民協働の推進

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和3年度の取組状況				
① ・1F・2Fフロアでのテーマ展示実施 一般向け 46回、児童コーナー向け 13回 ・滋賀県に関する資料の別置 比叡山延暦寺伝教大師1200年大恩忌に関連した比叡山延暦寺関連図書充実				
② ・ボランティア活動の実施 今年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため活動を停止。				
③ ・市民協働の推進 「大津おはなしのとびら」によるおはなし会の実施。(夏・冬・春休みに実施)				
(2) 課題と今後の展開				
① 滋賀県及び大津市に関する資料の充実とテーマ展示の充実				
② ③新型コロナウイルス感染症対策を講じた中で、ボランティア活動がどこまで推進できるか。				
2 指標				
指標名	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和4年度目標
図書館事業の協働事業者数	10	1	10.0%	10
3 自己評価		達成状況	B	
① さまざまな分野からテーマを決めて展示することで、幅広く本を紹介することができ利用の拡大につなげることができた。また、滋賀県に関連する、テーマや著者の資料を積極的に購入し、郷土資料の充実を図った。				
② 今年度についても、新型コロナウイルス感染症の影響で、書架整理及び本の修理ボランティア登録者の活動を休止していた。				
③ コロナ禍の中ではあったが、大津おはなしのとびらと協働して事業を実施することができた。今後も、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、事業を継続していきたい。				

II. 北図書館

1. 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和3年度の取組状況				
1. ボランティア活動の紹介と更なる推進 ボランティア団体(たーたか、コロボックル)による定期的なおはなし会の開催やボランティア活動による本の修理・配架等を行い、館内サービスの充実に取組んだ。				
2. 市民協働の推進 7名のボランティア登録者が書架の整理や映画会の受付・除菌作業など活動に努めたことで、利用者の満足度が向上した。 また、寄贈本の装備や備品等の修繕に取り組んでもらい、作業効率や施設の安全・安心に努めた。				

(2) 課題と今後の展開				
【課題】				
1. ボランティア参加者の増加と活動領域の拡大。				
【今後の展開】				
1. ボランティアの活動内容を広く紹介することにより、新規参加者を集めていく。				
2. ボランティアと共に新たな活動領域を検討していく。				
2. 指標				
指標名	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和4年度目標額
図書館事業の協働事業者数	15	16	106.7%	15
3. 自己評価		達成状況	A	
令和3年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、ボランティア団体(たーたか、コロブックル)によるおはなし会を開催した。それぞれに、特色のある活動(人形劇、素話や、歌を盛り込んだり)をしてもらった。また、個人ボランティアで登録の方々には、書架整理、行事等運営補助、資料修理を中心に活動いただけた。また、ボランティア登録を積極的に進めることにより、個人の得意分野を生かしながら、活動を推進することが出来た。				

Ⅲ. 和邇図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和3年度の取組状況				
① ・テーマ展示(月ごとに本の紹介) ・ミニ展示コーナーの設置(再掲)。 ・また本が見つけやすくなるよう、書架の見出しを追加・整備				
② ・新型コロナウイルス感染症対策のため、書架整理のボランティアは休止中。 ・ボランティアサークルはそれぞれの方針で活動し、場所等の提供を行った。				
③ ・志賀おはなしの会による「ぴよぴよおはなしかい」「おはなしかい」の開催(各10回) ・朗読の会「燠」による「テープ版図書館だより」の作成(11回) ・サークルまつりについては開催されなかった。				
(2) 課題と今後の展開				
① ・今後も利用者の課題発見と解決支援につながるような様々なテーマの本を紹介していく。 ・レファレンス記録をまとめ、公開することで解決支援につなげる。 ・積極的なフロアワーク・カウンターワークから利用者の課題解決支援に取り組んでいく。				
② ・活動推進にかかる情報提供・情報共有				
③ ・おはなし会や館内行事等読書ボランティア団体との協働事業の推進、30周年記念事業の中での、子どもたちから図書館へのメッセージ募集への協力				
2 指標				
指標名	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和4年度目標
図書館事業の協働事業者数	6	3	50.0%	6
3. 自己評価		達成状況	B	
課題発見と解決支援のための多彩なテーマの展示を行い、貸出につなげることができた。今後はパスファインダーの作成とともにレファレンス記録をまとめ、利用者に戻元していきたい。 サークル協議会への参加を通して、様々な意見を聞くことができた。また、サークルまつりでは新型コロナウイルス感染症の対策を講じつつ行われた本のリサイクル「ヨミガエル」の開催に協力した。 今年度は和邇図書館開館30周年記念事業が行われることから、より多くのボランティア団体、市民とともに図書館を盛り上げていきたい。				

図書館協議会の意見(総括)	達成状況	B
<ul style="list-style-type: none"> ・各館ともテーマ展示については、積極的に実施し、幅広く本を紹介することで利用の拡大につながったものと評価するものである。 ・指標となる図書館事業の協働事業者数については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、積極的な受け入れができなかったところは残念であった。 ・ウイズコロナ時代をきっかけに、図書館における『市民とともにつくる図書館』とは、ボランティア活動との連携だけでなく、市民協働やまちづくりの視点から新たに考えていく時期に来ている。このことは、これからの図書館のあり方にもつながるところであり、今後の『市民とともにつくる図書館』の推進に期待するところである。 		